



2018年11月12日

各位

会社名 神田通信機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 神部 雅人
 (JASDAQ・コード番号: 1992)
 問合せ先 取締役管理本部長 高橋 昌弘
 電話番号 (03) 3252-7731

2019年3月期第2四半期累計期間の
 業績予想と実績との差異に関するお知らせ

2018年5月14日に公表いたしました2019年3月期第2四半期累計期間の業績予想と、本日公表の実績に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期第2四半期業績予想と実績との差異
 (2018年4月1日～2018年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回予想 (A)	2,900	△60	△30	△45	△56円15銭
実績 (B)	2,907	△38	3	△10	△13円52銭
増減額 (B-A)	7	22	33	35	
増減率 (%)	0.3	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	2,368	△65	△29	△36	△45円55銭

(注) 当社は、2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

2. 業績予想との差異理由

売上高につきましては、主力事業である情報通信事業では、ネットワークインフラの設計・提案・構築、自社ブランドパッケージソフトの開発と販売が計画どおり推移し、照明制御事業では、国際標準規格DALI制御のソリューション提案・販売が計画を上回って推移いたしました。また、不動産賃貸事業は計画通りに推移し、前回予想を7百万円上回る結果となりました。

利益面につきましては、売上高が計画通りに推移したことに加え、上期に予定した設備投資等に関する費用発生が下期になったことにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益のいずれも前回予想を上回る結果となりました。

なお、通期の業績見通しにつきましては、現時点での修正はありません。

以上